

第24回まちづくりウォーキング

宮前区まちづくり協議会 まちづくりウォーキング部会

12月5日、今日はまちづくりウォーキングだ。酷暑といわれ暖冬といわれ、久しぶりに寒い日である。12月も5日であれば当然でもあるがそれにしても今日は寒い！雨が降らないだけいいか：と自分を励まして外に出る。

13時に宮崎台駅前集合。事務局を含めて30人くらいか、遅れないように歩こう。並木道や公園脇の木々は黄に紅に色づいている。小学校唱歌に「秋の夕陽に照る山もみじ」という一節があった。子どもの私は意味も分からず「テルヤマ」という山があるのかと思っていて友人に話したら「自分もそう思っていた」と言った。もう一つ、「赤とんぼ」の一節、「夕焼小焼の赤とんぼ おわれて見たのは：：」のところは、「誰に追われていたんだろう」と思っていた。この季節になるといつも思い出す。



さて最初の見どころ「軍標」を二つ。一つは、マンションとマンションの間にあるコンクリートの階段の途中にあった。12cmくらいの石の角柱がコンクリートに頭部のみチョコンと見てとれる。昔は踏み固められた土道だったろう。コンクリートに直す時によくぞ残してくれたと思う。もう一つは少し離れた竹藪の入り口にあった。



寒いから皆さん足早である。矢上川に沿って歩けば、左に小さな鳥居がある。急な細い道で足場が悪いが登って行こう。三嶋大明神、秋葉神社が祀られている。こんなに足場が悪いのに掃除もゆき届いており、この土地の方々が大事になさっておられるのだと思う。



今日のテーマは「歴史と交通にふれる」、次は馬絹神社へ。大きな鳥居をくぐって進めば荘厳なお社である。二礼二拍手一礼をして日々の平穏を祈る。右上に細い山道がある。その登り口に源頼朝ゆかりの小さな祠のようなものがある。頼朝がその松に馬の袖衣をかけたとか、この辺りの地名が馬絹といわれるのはこのことがいわれらしい。



馬絹神社の高台から梶ヶ谷貨物ターミナル駅を望む。この貨物車がリニアモーターカーを通すために掘られた土や区民の出すゴミを川崎港の方に運び、埋め立てにされるらしい。普段思いもしないことがこんな処で知らされるとは…。



馬絹古墳公園を経て川崎市青少年の家に行く。ここは昔、東部62部隊の営舎だったとか。ここに来る前は六本木にあったとか、そこにあった灯籠もこの地に運ばれた。その灯籠が前の地を恋うて夜な夜な外出する、これに困った人々が出られぬように下半分を切って上部をこの土に据えたという、お化け灯籠の謂れとか。周囲に散り敷くもみじが美しい。

・相寄りて いちよう楓が もみちする しろしろ寒し 白秋の身は



急ごう。終点はセレサモス、ここは15時までの営業、お買物の方はまたどうぞ！お疲れ様！

(河又記)

